



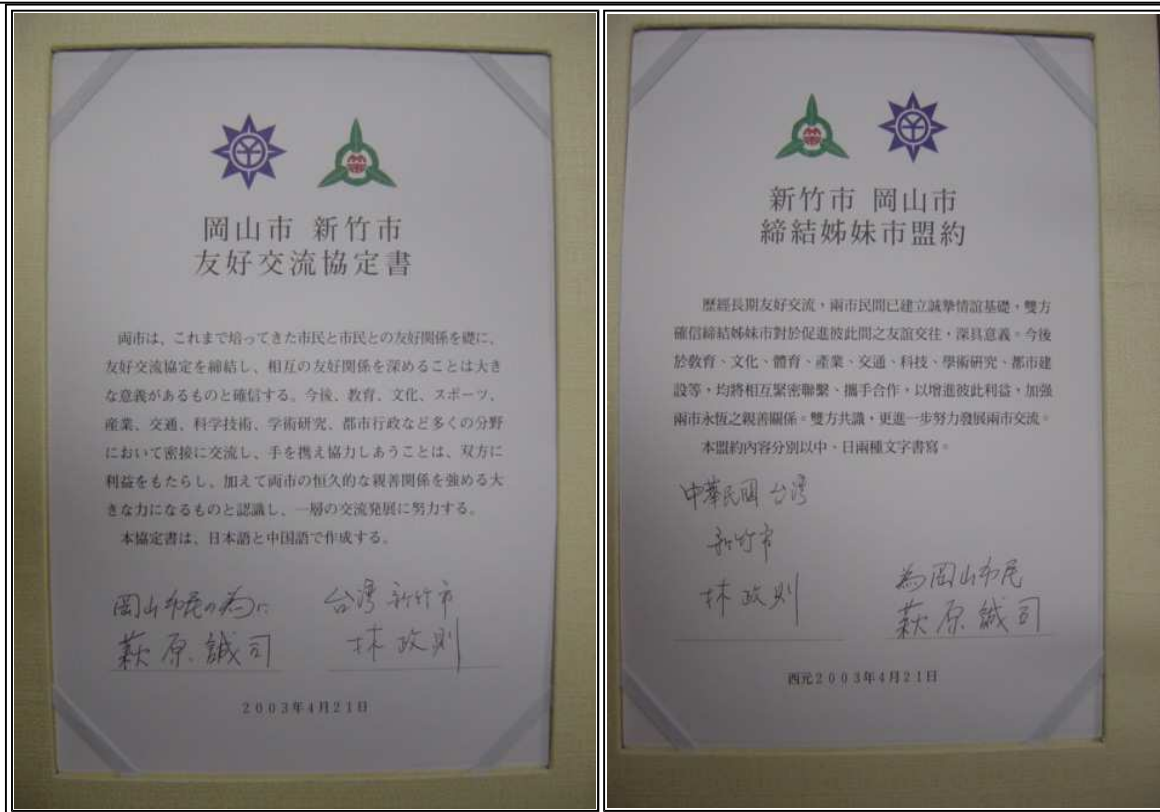
◎岡山市・新竹市友好交流協定締結

岡山市と新竹市の交流は、平成12年8月に結成された岡山市日台友好都市議員連盟一行が、平成12年9月に新竹市を訪問したことから始まり、平成13年4月には同議員連盟が新竹市政府及び同市議会との友好交流に関する覚書の調印を行いました。これを契機に、両市の交流は大きく進展、岡山市子供海外派遣事業による中学生の新竹市への派遣、ガラス工芸作家の交流、市民訪問団の派遣、保育園の姉妹園締結など、幅広い分野で交流の輪が広がってきました。

このような交流を経て、平成15年4月21日10時から岡山市役所本庁舎7階大会議室において「岡山市・新竹市友好交流協定調印式」が執り行われ、萩原岡山市長と林新竹市長が友好交流協定に調印しました。

今後、「都市と都市」「市民と市民」との友好促進を目的とする基本的な考えに基づき、さらに交流を発展させていきます。

○岡山市新竹市友好交流協定書



○友好交流協定締結に関する洛陽市からの意見に対する岡山市の対応について

新竹市との友好交流協定締結について岡山市は、「都市と都市」「市民と市民」の友好促進を目的とするものであるとの基本的考え方に立ち、我が国政府の立場と矛盾しないよう取り組んできたところであります。

これについて、平成14年11月中旬に洛陽市長から「新竹市との友好都市締結をやめるように」との親書が岡山市長宛に届きました。これに関して岡山市長から「本市は、あくまで都市と都市、市民と市民、人と人の友好交流として取り組んでいるものであり、国の政治や外交関係などに影響されるものでもなく、また、影響を与えようとするものでもない」との主旨の返書を送付しました。また、新竹市との友好交流締結を行う直前の本年4月中旬にも、洛陽市人民政府外事弁務公室（洛陽市政府の国際部門にあたる）から「協定については、日中共同声明などの原則を守っていただきたい。また、国名の表記はしないように。」との要望が本市国際課にありました。これについても「日中共同声明などに基づき我が国政府の立場と矛盾しないよう取り組んできたところであり、都市と都市、市民と市民の友好促進を目的として交流を進めていく。」との見解を岡山市として表明いたしております。

また、締結後の4月22日には、洛陽市人民政府外事弁務公室から「協定書のなかに中華民国という文字が入っていることについて遺憾の意が示され、円満に納まるようご返答をお願いします。」との主旨の要望が本市国際課にありました。これについては、本市国際課から「協定書本文において国名の記載はなく、両市長がそれぞれの判断と責任で署名を行ったものであります。岡山市長は、日本語・中国語の協定書のいずれにおいても「岡山市民の為に 萩原誠司」と署名しており、国名の記載は一切しておりません。」との主旨の文書を洛陽市外事弁務公室に送っています。

その後、洛陽市長から「協定書のなかに中華民国という記載を許したことは、中日共同声明などに背くものであり、誤りを是正しなければ、両市の友好都市関係を凍結せざるを得ない。」との立場が岡山市長に対して表明されました。これに対し岡山市長から、改めて上記の主旨を文書にして洛陽市長に送っています。

この岡山市長からの文書送付後に、洛陽市長から「誤りを正さなかったとして、洛陽市は4月29日より岡山市との友好都市関係を凍結する。」との文書による通知が岡山市長にありました。これに対し岡山市長から、「本市の真意を十分ご理解いただけないまま、貴市が本市との友好関係を凍結するとの貴信に接し、驚き、大変残念に感じていること、洛陽市との友好関係を引き続き継続、発展させていきたいとの考えにいささかの变化もないこと。」との主旨の文書を洛陽市長に送ったところであります。

※新竹市との友好交流協定締結に関する洛陽市からの意見に対する岡山市の対応については、前述のとおり洛陽市長、岡山市長の両市長間の文書の主旨を踏まえて掲載してきてきたところでありますが、市民の方々の理解を深めるため、両市長間の文書を下記のとおり載せることといたしました。

・4月25日付けの洛陽市長から岡山市長への書簡（岡山側仮訳）

2003年4月21日、貴市は本市と再三の交渉を無視して、中国台湾省新竹市と、いわゆる「岡山市・新竹市友好交流協定」（中国文面「新竹市岡山市姉妹都市条約締結」）なるものを締結した際、中国語の書類に“中華民国”という文字を書くことを許しました。このやり方は《中日共同声明》、《中日平和友好条約》と《中日共同宣言》の原則と精神に背き、洛陽市と岡山市の20年余りの友好交流と協力関係を損ないました。このために私たちは、強い不満と抗議の意を表明するとともに、直ちに貴市が有効的な措置を取り誤りを是正することを要求します。そうしなければ、両市の友好都市関係を凍結せざるを得ないことを宣言する。

・4月28日付けの岡山市長から洛陽市長への書簡

貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本市と新竹市との友好交流協定書についての貴職のお考えが4月25日付けの貴信で示されましたが、これにつきまして、すでに、ご説明申し上げてきたところでありますが、改めて本市の考えをご説明申し上げます。

新竹市との友好交流につきましては、岡山市としては、あくまで「都市と都市」、「市民と市民」の友好交流促進を目的とするものであり、「日中共同声明」、「日中平和友好条約」に基づく我が国政府の立場と矛盾しないよう取り組んできたところであります。

したがって、このたびの協定締結も、上記の考え方で行ったものであり、協定書本文において国名の記載はなく、署名については、両市長がそれぞれの判断と責任で行い、これについては私は、日本語・中国語の協定書のいずれにおいても「岡山市民の為に 萩原誠司」と署名しており、国名の記載は一切しておりませんことにご留意をいただきたく存じます。

このことからもお分かりいただけることと思いますが、本市と新竹市との友好交流は、岡山洛陽両市

が20年来にわたって築き上げてきた「市民と市民」「都市と都市」の友好関係に決して影響を与えるものではなく、また、影響させてはならないと考えており、この点をくれぐれもご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴職と洛陽市の皆様のますますのご清栄を心からお祈り申し上げます。

- ・4月29日付けの洛陽市長から岡山市長への書簡（岡山側仮訳）

4月28日付けのお手紙拝受いたしました。

貴市が両市人民の友好の大局を顧みず、公に「二つの中国」をつくり出した過ちをあくまでも正さないうちに鑑み、中日共同声明、中日平和友好条約の原則及び精神の保護と、両市人民の根本的な利益を保護するため、洛陽市は厳粛に宣言する。  
本日より、岡山市の友好都市関係を凍結する。

- ・5月1日付け岡山市長から洛陽市長への書簡

陽春の候、貴職におかれましてはますますご清栄のととと拝察申し上げます。

さて、本市が今まで説明してきました真意を十分ご理解いただけないまま一方的に、貴市が本市との友好関係を2003年4月29日をもって凍結するとの貴信に接し、驚き、大変残念に感じております。

もとより、本市は、貴市との友好関係と交流事業を引き続き継続、発展させていきたいとの考えにいささかの変化もないことを併せて申し上げますとともに、末永い両市市民の友好を祈念します。

#### (参考)

また、日本では、両地域との交流を行っているのは岡山市が初めてですが、1972年の米中上海共同コミュニケ等で中華人民共和国を一つの中国を認めている米国でも、すでに13組以上の都市縁組があり、「都市と都市」「市民と市民」の交流が具体的に推進されています。

米国で両地域と都市縁組をしている都市等			
アリゾナ州	フェニックス	成都	台北
インディアナ州	マンシー	徳陽	彰化
オハイオ州	コロンバス	合肥	台南
オレゴン州	ポートランド	蘇州	高雄
カリフォルニア州	サンフランシスコ	上海	台北
カリフォルニア州	ロサンゼルス	広州	台北
カリフォルニア州	サンディエゴ	煙台	台中
テキサス州	オースティン	西双版納	台中
ニューメキシコ州	アルバカーキー	蘭州	花蓮
ネバダ州	レノ	南海	台中
フロリダ州	オーランド	桂林	台南
ミズーリ州	カンザスシティ	西安	台南
ワシントン州	タコマ	福州	台中
※ タコマ、アルバカーキーについては、協定書の中に「The Republic of China」=「中華民国」の記載がみられる。			

岡山市民の皆様のご意見（パブリックコメント）をいただければ幸いです。

#### ○友好交流協定調印記念植樹式

調印式終了後、岡山ドーム北側植栽場で調印記念植樹式が行われ、萩原市長、林市長などにより、新竹市の市花「ツツジ」と、岡山市の市花木「サルスベリ」の植樹を行い、両市民の交流・発展を祈念しました。



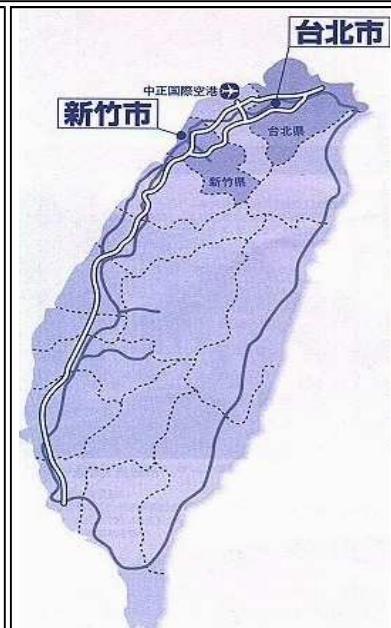
### ○新竹市の横顔

新竹市は台北市の南西約80Kmに位置し、人口約38万人、面積104Km<sup>2</sup>の都市で、清代からの城下町。

「新竹風」と言われる季節風が強く、「風の街」とも呼ばれており、この風を利用した新竹ビーフン(米粉)が古くから有名である。また、伝統工芸産業としてはガラス工芸、凧、灯籠、木彫りが盛んである。

1980年以降整備されたサイエンスパークには、理工系の学術研究機関が点在し、また内外の300社を超えるハイテク企業が進出しており、現在台湾のシリコンバレーとして世界のIT産業の最先端を担っている。

また、新竹市沿海の17Kmにわたる海岸は、北台湾で最大の湿地帯となっており、ここに観光レジャーゾーンが計画され、マングローブ森林公園、バードウォッチング・砂浜・凧上げエリア、自転車道、風力発電所などを建設中である。



国際課のトップへ